

速野の福祉

= 発行 =
速野学区
社会福祉
協議会

ひと



大曲自治会

山本 静枝 さん(94歳)

題字・インタビュ記事とも

おしゃべりが何よりの楽しみ



大正・昭和・平成・令和と歳を重ねた静枝さんは、農家の六人きょうだいの長女として生まれ、早くから農業を手伝い、嫁ぎ先も農家ということで、八十八歳まで田んぼや畑に精を出してこられました。

ご主人がケガや病気がちで静枝さん自らトラクターやコンバインに乗って田んぼを守ってこられました。

最近、週三回のデイサービスにお世話になり、週一回のグラウンドゴルフが日課です。大曲の老人会の有志でされているグラウンドゴルフに参加して身体を動かし、皆さんとおしゃべりすることが今の何よりの楽しみだそうです。その腕前もまだまだ若い人に負けないぐらいで、この前もホールインワンを出されたそうです。

絆で繋がりに互いに思いやりを持てる社会を！

速野学区社会福祉協議会

会長 馬場 敏明



緑も一段と濃さを増し雨に映える季節となりました。学区民の皆様方におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。

平素は速野学区社会福祉協議会に対しまして格段の御協力、ご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。このたび、令和元年度役員改選におきまして、引き続き学区長の大役をお受けすることになりました。未熟者ではございますが、この速野学区福祉向上のために皆様と共に、学区民が暖かい絆で繋がりに『思いやりを持てる社会』を目指して微力ではございますが誠心誠意努めてまいりたいと思っております。

当協議会では、基本理念「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」のもと、第三次地域福祉活動計画の三年目を迎えております。当学区は若い自治会と高齢化率の高い自治会と二極化しています。課題は多岐に亘りますが、市・学区・自治会の一層の密接な連携のもと、皆様と共にある速野学区社会福祉協議会を目指して諸活動に取り組んでまいりますので、参画、ご支援とご協力の程よろしくお願ひします。

福祉活動紹介

速野更生保護女性会

「明るい社会づくりの基盤は家庭から」

更生保護女性会は、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりを目指して活動しているボランティア団体です。

速野学区では、「明るい社会づくりの基盤は家庭から」をモットーに、子育て支援を中心に活動を行っています。

主な活動としては、



① 図書(絵本)の贈呈

毎年、少額ではありますが子どもたちの心がより豊かに育つようにと、速野学区にある三つの幼稚園・保育園・こども園に絵本を贈呈しています。各園では有効に活用していただいています。

② 心と心をつなぐあいさつ運動

それぞれの自治会で計画的に朝のあいさつ運動を実施し、子どもたちとの心の繋がりを大切にしています。いつも見守ってくれる人がいる、環境づくりに努めたいと考えています。

子どもたちが、安全、安心に暮らせる住み良いまちになるよう、今後も地域に根ざした更生保護ボランティアとして活動して参ります。皆様のご理解・ご協力宜しくお願い致します。 会長 今井 みつ子

守山市赤十字奉仕団速野分団

「Red Cross Volunteers」

赤十字奉仕団は、人道・博愛の精神のもと、その使命である人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって構成されたボランティアの組織です。

私たちの守山市赤十字奉仕団速野分団の班編成は、自治会5班（開発、大曲、水保、美崎、ネオ・ベラヴィータ守山）男女48名と1グループ班（ひまわり）男女8名の計56名で奉仕活動をしています。

＝速野分団の重点目標＝

- 1 組織強化の取り組み。特に男性団員の加入促進
- 2 一声ふれあい運動の推進（在宅高齢者の支援）
- 3 防災、減災への取り組み（ハイゼックス炊き出し、救急救命等の講習の実施）

速野学区民が安全で安心して暮らせるために、私たち分団員一同が協力して活動をしてまいります。昨年より皆様の協力をいただいております「プルトップ事業」のなお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※プルトップ回収事業：回収量により、車椅子と交換することが出来ます。

分団長 山本 茂子

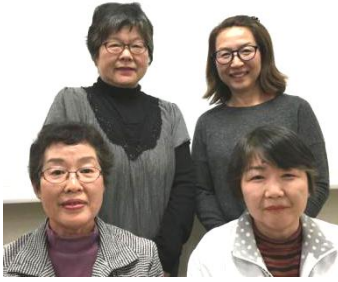


令和元年~2年度

福祉協力員連絡会 28名 (敬称略)

堀尾 はる江 (地)

中井 佳子 (啓)



堀尾 好子 (ボ)

和田 節子 (広)

開発

大橋 礼子 (ボ)

山田 あけみ (啓)



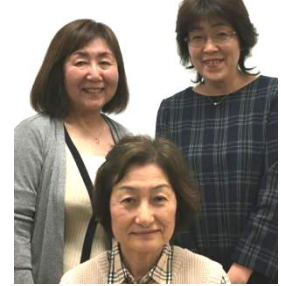
今井 順子 (広)

山田 富美子 (地)

今浜

副代表:西村 幸子 (広)

斉藤 祥子 (啓)



代表:北川 六子 (総務)

中野小林

今井 きみ代 (啓)

下村 敦子 (広)



今井 江美(地)

水保

西村 弘子 (地)

馬淵 朋子 (啓)



古城 和美 (広)

中野

前田 すづ代 (広)

北村 昌美 (啓)



楠本 美佐江 (地)

村田 佐代子 (ボ)

木浜

森坂 静 (広)



美崎

大谷 みどり (ボ)

室田 慶子 (啓)



村・ガイ・守山

副代表:山本 ますみ (広)



大曲

遠藤 弘美 (啓)

中井 尚子 (地)

松井 敏美 (広)



北川 NT

任期は2年、学区社会福祉協議会では4部会に分かれ、民生委員・児童委員の皆さんと共に活動しています。



4/4 (木) 誰がなるん?!
新しい3役を選んでいます。



地 : 地域福祉部会
啓 : 啓発部会
ボ : ボランティア部会
広 : 広報部会

4/25 (木) 13:30~
福祉協力員
全員研修会



4/25 (木) 19:30~
第1回福祉協力員
連絡会議



速野情報箱



お出かけサロン

開発自治会

平成31年 4月9日(火)

【最新の技術と春を感じよう】をテーマに彦根に行きました。

お天気にも恵まれ、車窓から満開の桜を眺めながら目的地の「国立印刷局 彦根工場」に到着。厳しいチェックの後、印刷や裁断の様子を見学。偽造防止の為の最先端の技術に感心したり、一億円の重さを体感したりと貴重な経験をしました。

その後、ゆっくりと美味しい昼食をいただき、近江八幡の直売所で買い物を楽しみ、帰路につきました。



カフェサロン

中野小林自治会

平成31年 4月25日(木)

11名の参加者とスタッフ6名が参加しました。

男性は真剣に将棋盤に向かい、女性はコーヒーを飲みながら、おしゃべりやトランプを楽しみました。

3月のカフェサロンで作った棒サツカーの棒は、新聞紙を丸めて、参加者宅に有った竹を切って芯に入れ、ガムテープを巻いた手作りです。頑丈な棒が出来あがり、棒サツカーゲームができる日を楽しみにしています。



守山市北部地区

地域包括支援センター便り

もし路上で、

認知症と思われる人と出会ったら

道に迷っていたり、何かに困っている様子であれば自然に声を掛けてみて下さい。例「こんにちは」「何かお困りですか?」

★声を掛ける時のポイント★

- ・正面から、ゆっくりとした口調で
- ・驚かせない、答えを急がせない

意思疎通が難しかったり、対応が難しかったら…

地域包括支援センター(又は警察)に連絡

関係者が到着するまで一緒に居てあげて下さい。優しく声を掛けてあげて下さい。

関わり方のポイント

- ・驚かせない
- ・急がせない
- ・自尊心を傷つけない

守山市北部地区地域包括支援センター

TEL 077 (516) 4160

